

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成23年1月20日(2011.1.20)

【公表番号】特表2009-528275(P2009-528275A)

【公表日】平成21年8月6日(2009.8.6)

【年通号数】公開・登録公報2009-031

【出願番号】特願2008-552537(P2008-552537)

【国際特許分類】

C 0 7 C 59/90 (2006.01)

A 6 1 P 3/10 (2006.01)

A 6 1 P 9/10 (2006.01)

A 6 1 P 15/00 (2006.01)

A 6 1 P 9/12 (2006.01)

A 6 1 P 3/06 (2006.01)

A 6 1 P 13/12 (2006.01)

A 6 1 P 27/02 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 17/02 (2006.01)

A 6 1 P 27/12 (2006.01)

A 6 1 K 31/192 (2006.01)

C 0 7 C 59/66 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 C 59/90 C S P

A 6 1 P 3/10

A 6 1 P 9/10

A 6 1 P 15/00

A 6 1 P 9/10 1 0 1

A 6 1 P 9/12

A 6 1 P 3/06

A 6 1 P 13/12

A 6 1 P 27/02

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 17/02

A 6 1 P 27/12

A 6 1 K 31/192

C 0 7 C 59/66

【手続補正書】

【提出日】平成21年11月30日(2009.11.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

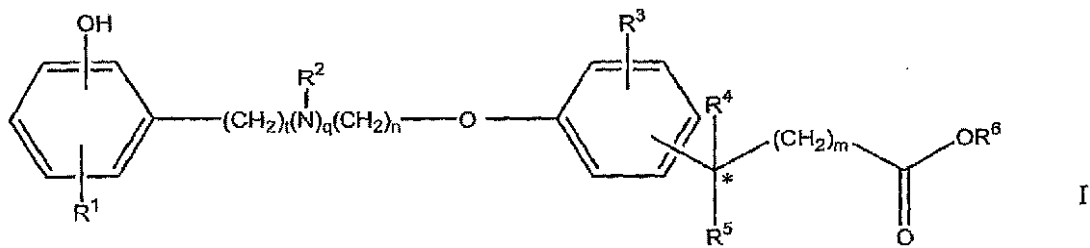
【請求項 1】

インシュリン抵抗性症候群、Ⅰ型糖尿病およびⅡ型糖尿病を含む糖尿病ならびに多嚢胞性卵巣症候群からなる群より選択される状態の治療；または糖尿病に関連するアテローム硬化症、動脈硬化症、肥満、高血圧症、高脂血症、脂肪肝、腎症、神経障害、網膜障害

、足潰瘍もしくは白内障の治療またはそれを発生させる可能性の低減；または高脂血症、悪液質および肥満からなる群より選択される状態の治療のための医薬品の製造における生物学的に活性な因子の使用であって、

該因子は、式：

【化 1】



の化合物または該化合物の医薬として許容し得る塩であって、式中、

n は、1 または 2 であり；

m は、0、1、2、3 または 4 であり；

q は、0 または 1 であり；

t は、0 または 1 であり；

R¹ は、水素、ハロ、ヒドロキシ、1 個または 2 個の炭素原子を有するアルキル、ペルフルオロメチル、1 個または 2 個の炭素原子を有するアルコキシおよびペルフルオロメトキシであり；

R² は、1 個から 3 個の炭素原子を有するアルキルであり；

R³ は、水素、ハロ、1 個から 3 個の炭素原子を有するアルキルまたは 1 個から 3 個の炭素原子を有するアルコキシであり；

R⁴ および R⁵ の一方は水素またはヒドロキシであり、他方は水素であり；または R⁴ および R⁵ は一緒になって = O となり；

R⁶ は、水素、または 1 個、2 個、3 個、4 個または 5 個の炭素原子を有するアルキルである、
使用。

【請求項 2】

n は 1 であり；q は 0 であり；t は 0 であり；R³ は水素であり；m は 0、2 または 4 である、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 3】

前記化合物が、

4 - (3 - (2, 6 - ジヒドロキシベンジルオキシ)フェニル) - 4 - オキシ酪酸

3 - (2, 6 - ジヒドロキシベンジルオキシ)フェニル酢酸、および

4 - 3 - (2, 6 - ジヒドロキシベンジルオキシ)フェニル) - 4 - ヒドロキシブタン

酸

からなる群より選択される、請求項 2 に記載の使用。

【請求項 4】

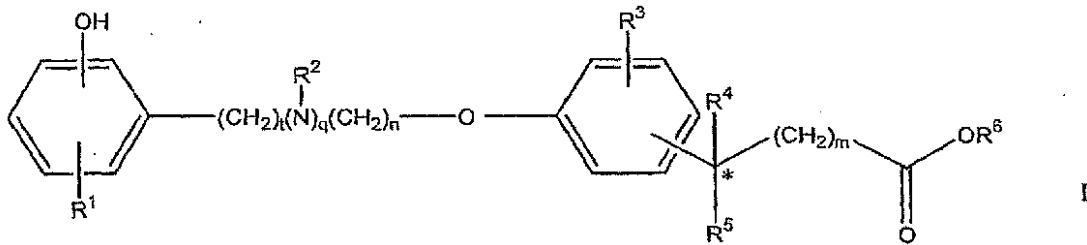
前記医薬品は経口投与用に処方される、請求項 1、2 または 3 に記載の使用。

【請求項 5】

インシュリン抵抗性症候群、糖尿病、多嚢胞性卵巣症候群、高脂血症、脂肪肝、悪液質、肥満、アテローム硬化症および動脈硬化症からなる群より選択される状態を有する哺乳動物被験体を治療するための組成物であって、生物学的に活性な因子を含み、

該因子は、式：

【化 2】



の化合物または該化合物の医薬として許容し得る塩であって、式中、

n は、1 または 2 であり；

m は、0、1、2、3 または 4 であり；

q は、0 または 1 であり；

t は、0 または 1 であり；

R^1 は、水素、ハロ、ヒドロキシ、1 個または 2 個の炭素原子を有するアルキル、ペルフルオロメチル、1 個または 2 個の炭素原子を有するアルコキシおよびペルフルオロメトキシであり；

R^2 は、1 個から 3 個の炭素原子を有するアルキルであり；

R^3 は、水素、ハロ、1 個から 3 個の炭素原子を有するアルキルまたは 1 個から 3 個の炭素原子を有するアルコキシであり；

R^4 および R^5 の一方は水素またはヒドロキシであり、他方は水素であり；または R^4 および R^5 は一緒になって $=O$ となり；

R^6 は、水素、または 1 個、2 個、3 個、4 個または 5 個の炭素原子を有するアルキルである、

組成物。

【請求項 6】

n は 1 であり； q は 0 であり； t は 0 であり； R^3 は水素であり； m は 0、2 または 4 である、請求項 5 に記載の組成物。

【請求項 7】

前記化合物が、

4 - (3 - (2, 6 - ジヒドロキシベンジルオキシ)フェニル) - 4 - オキソ酪酸

3 - (2, 6 - ジヒドロキシベンジルオキシ)フェニル酢酸、および

4 - 3 - (2, 6 - ジヒドロキシベンジルオキシ)フェニル) - 4 - ヒドロキシブタン

酸

からなる群より選択される、請求項 6 に記載の組成物。

【請求項 8】

前記被験体はヒトである、請求項 5、6 または 7 に記載の組成物。

【請求項 9】

前記因子は 1 日当たり 1 ミリグラムから 400 ミリグラムの量で経口投与される、請求項 8 に記載の組成物。

【請求項 10】

前記状態はインシュリン抵抗性症候群または II 型糖尿病である、請求項 5 に記載の組成物。

【請求項 11】

前記治療は、糖尿病に関連するアテローム硬化症、肥満、高血圧症、高脂血症、脂肪肝、腎症、神経障害、網膜障害、足潰瘍および白内障からなる群より選択される糖尿病の症状、または糖尿病の症状を発生させる可能性を低減する、請求項 5 に記載の組成物。

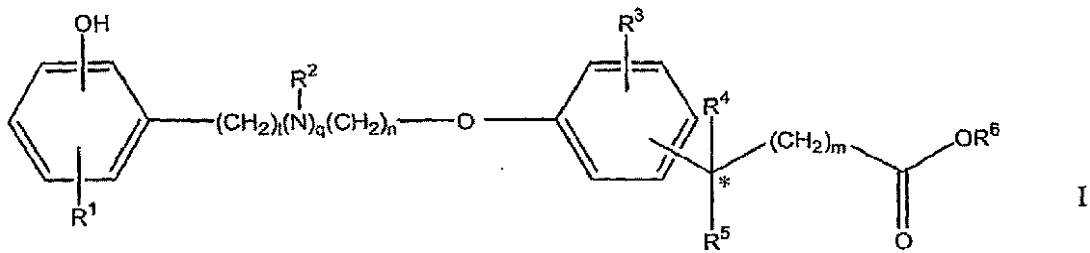
【請求項 12】

インシュリン抵抗性症候群、糖尿病、多嚢胞性卵巣症候群、高脂血症、脂肪肝、悪液質、肥満、アテローム硬化症、動脈硬化症からなる群より選択される状態の治療に使用され

、経口投与用に適合された医薬組成物であって、医薬として許容し得る担体および１ミリグラムから４００ミリグラムの生物学的に活性な因子を含み、

該因子は、式：

【化３】



の化合物または該化合物の医薬として許容し得る塩であって、式中、

n は、１または２であり；

m は、０、１、２、３または４であり；

q は、０または１であり；

t は、０または１であり；

R^1 は、水素、ハロ、ヒドロキシ、１個または２個の炭素原子を有するアルキル、ペルフルオロメチル、１個または２個の炭素原子を有するアルコキシおよびペルフルオロメトキシであり；

R^2 は、１個から３個の炭素原子を有するアルキルであり；

R^3 は、水素、ハロ、１個から３個の炭素原子を有するアルキルまたは１個から３個の炭素原子を有するアルコキシであり；

R^4 および R^5 の一方は水素またはヒドロキシであり、他方は水素であり；または R^4 および R^5 は一緒になって $=O$ となり；

R^6 は、水素、または１個、２個、３個、４個または５個の炭素原子を有するアルキルである、

医薬組成物。

【請求項１３】

n は１であり； q は０であり； t は０であり； R^3 は水素であり； m は０、２または４である、請求項１２に記載の医薬組成物。

【請求項１４】

前記化合物が、

４－（３－（２，６－ジヒドロキシベンジルオキシ）フェニル）－４－オキソ酪酸

３－（２，６－ジヒドロキシベンジルオキシ）フェニル酢酸、および

４－３－（２，６－ジヒドロキシベンジルオキシ）フェニル）－４－ヒドロキシブタン

酸

からなる群より選択される、請求項１３に記載の医薬組成物。

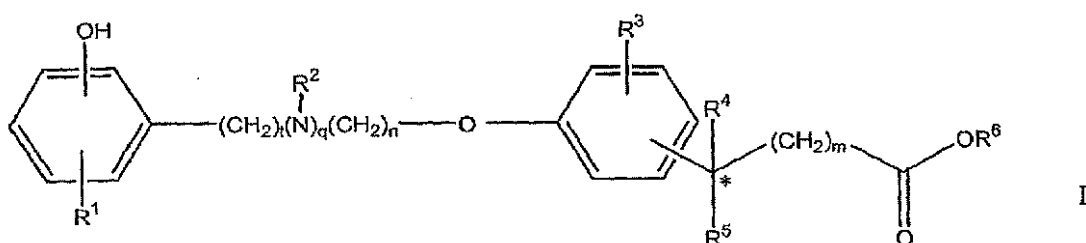
【請求項１５】

経口剤形である、請求項１２、１３または１４に記載の医薬組成物。

【請求項１６】

式：

【化４】



化合物または該化合物の医薬として許容し得る塩であって、式中、

n は、1 または 2 であり；

m は、0、1、2、3 または 4 であり；

q は、0 または 1 であり；

t は、0 または 1 であり；

R¹ は、水素、ハロ、ヒドロキシ、1 個または 2 個の炭素原子を有するアルキル、ペルフルオロメチル、1 個または 2 個の炭素原子を有するアルコキシおよびペルフルオロメトキシであり；

R² は、1 個から 3 個の炭素原子を有するアルキルであり；

R³ は、水素、ハロ、1 個から 3 個の炭素原子を有するアルキルまたは 1 個から 3 個の炭素原子を有するアルコキシであり；

R⁴ および R⁵ の一方は水素またはヒドロキシであり、他方は水素であり；または R⁴ および R⁵ は一緒になって = O となり；

R⁶ は、水素、または 1 個、2 個、3 個、4 個または 5 個の炭素原子を有するアルキルである、

化合物または該化合物の医薬として許容し得る塩。

【請求項 17】

n は 1 であり；q は 0 であり；t は 0 であり；R³ は水素であり；m は 0、2 または 4 である、請求項 16 に記載の化合物または塩。

【請求項 18】

前記化合物が、

4 - (3 - (2 , 6 - ジヒドロキシベンジルオキシ) フェニル) - 4 - オキソ酪酸

3 - (2 , 6 - ジヒドロキシベンジルオキシ) フェニル酢酸、および

4 - 3 - (2 , 6 - ジヒドロキシベンジルオキシ) フェニル) - 4 - ヒドロキシブタン酸

からなる群より選択される、請求項 17 に記載の化合物または塩。